

# 「ぼうさいこくたい」が2026年10月に鳥取県倉吉市で開催される意義

資料5-1

香川 敬生 (鳥取大学工学部 社会システム土木系学科/附属地域安全工学センター)

## 様々な災害を経験し、巧みに復興してきた地域

## 2016年鳥取県中部の地震から10年

【水害】 1893年(死者300余) 千代川 1934年室戸台風(天神川水系, 倉吉死者31)

1918年(死者30) 代川 1959年伊勢湾台風(死者3)

河川改修(直線化)の推進 川 1961年第二室戸台風(死者3)

↓ 1976年(死者2), 1979年(死者2) 1963(S38)年豪雪(死者5)

1983年完了 2012年殿ダム 2018年西日本豪雨 2023年台風7号 (死者0)

【火災】 1952年鳥取大火 → 耐火建築促進法(1952)の適用(全国初)

【地震】 南海トラフ地震の前約50年～後約10年は地域の地震活動が活性化

M6.8以上の30年発生確率40%(2016年7月地震調査研究推進本部)

南海トラフ地震(M8～9)の30年発生確率60～90%(2025年9月地震本部)

最大想定で鳥取県は震度5強だが, 分単位で揺れる 昭和南海で死者2名

1943年9月10日鳥取地震(Mj7.2, 死者1210) M6級が3月に2, 余震で3

1983年10月31日鳥取県中部の地震(Mj6.2) これ以降大きな地震で

2000年10月6日鳥取県西部地震(Mj7.3, Mw6.6) 死者0

「鳥取県西部地震被災者向け住宅復興補助金」の創設(全国初)

→ 2007年: 国の「被災者生活再建支援法」で住宅本体も対象に

2016年10月21日 鳥取県中部の地震(Mj6.6, Mw6.2) → 対象を半壊以上から一部損壊へ

「災害ケースマネジメント」の導入 → 2018年: 「鳥取県防災及び危機管理に関する基本条例」

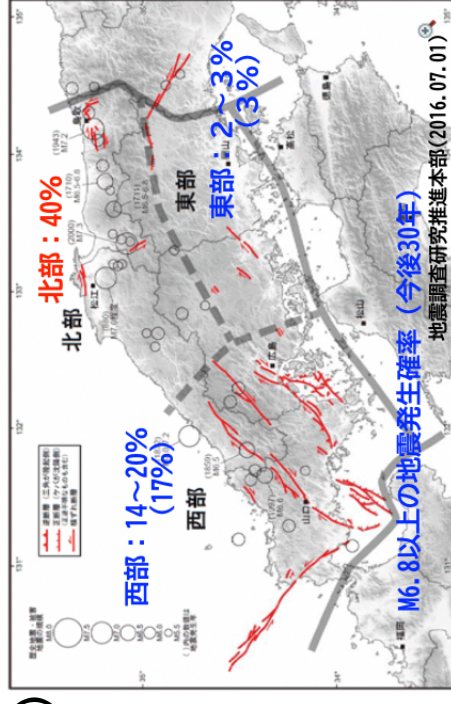
2026年1月6日鳥根県東部の地震(Mj6.2, Mw5.7)

で制度化(全国初)

防災と復興に向けた鳥取の知見を, 全国に届ける機会としたい!



倉吉町役場元帥酒造角の様子  
(倉吉河川国道事務所)



M7級は既に2つ発生, M6クラスは懸念

全国に先駆けた新しい  
取り組みを提案・実施